

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和3年度第1四半期（令和3年4月～6月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：149企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：41社 サービス業：58社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

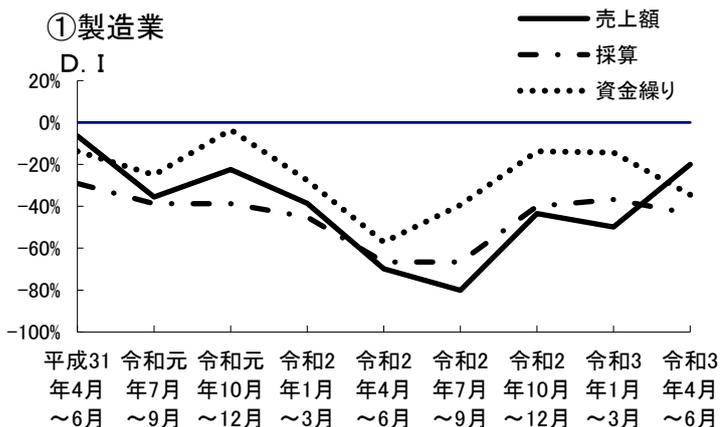
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成31年 4～6月期	 ▲ 23.4	 30.0	 ▲ 45.0	 ▲ 12.1	 ▲ 12.6					
令和元年 7～9月期	 ▲ 36.7	 20.0	 ▲ 41.0	 ▲ 15.2	 ▲ 18.2						
令和元年 10～12月期	 ▲ 26.7	 10.0	 ▲ 46.2	 ▲ 25.4	 ▲ 22.1						
令和2年 1～3月期	 ▲ 43.3	 0.0	 ▲ 55.0	 ▲ 23.7	 ▲ 30.5						
令和2年 4～6月期	 ▲ 69.0	 ▲ 25.0	 ▲ 77.5	 ▲ 60.3	 ▲ 58.0						
令和2年 7～9月期	 ▲ 55.2	 ▲ 20.0	 ▲ 65.9	 ▲ 54.2	 ▲ 48.8						
令和2年 10～12月期	 ▲ 41.5	 ▲ 20.0	 ▲ 64.2	 ▲ 37.9	 ▲ 40.9						
令和3年 1～3月期	 ▲ 39.3	 ▲ 20.0	 ▲ 53.7	 ▲ 34.5	 ▲ 36.9						
令和3年 4～6月期	 ▲ 40.0	 ▲ 25.0	 ▲ 51.2	 ▲ 28.1	 ▲ 36.1						
令和3年 7～9月期	 ▲ 13.4	 ▲ 40.0	 ▲ 51.2	 ▲ 42.1	 ▲ 36.7						

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



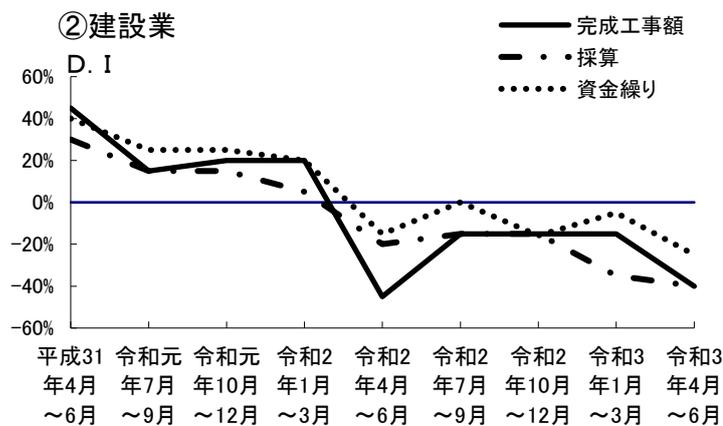
<前期比>

売上額 : 好転 (▲49.9→▲20.0 ポイント)
採算 : やや悪化 (▲36.7→▲43.4 ポイント)
資金繰り : 悪化 (▲14.3→▲34.5 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (20.0%)
2位 : 原材料価格の上昇 (16.0%)

②建設業



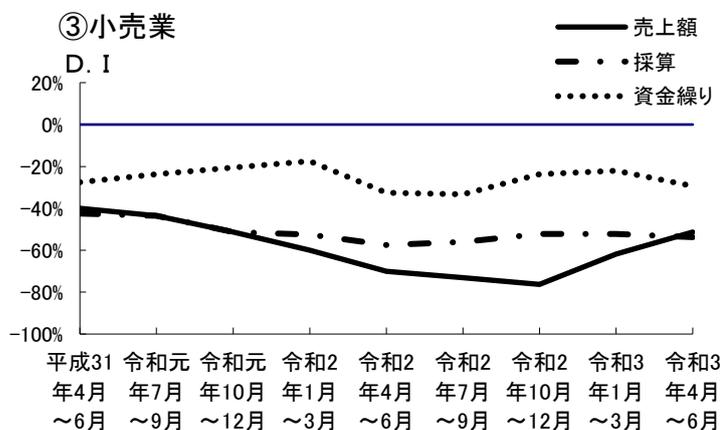
<前期比>

完成工事額 : 悪化 (▲15.0→▲40.0 ポイント)
採算 : やや悪化 (▲35.0→▲40.0 ポイント)
資金繰り : 悪化 (▲5.0→▲25.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 熟練技術者の確保難 (35.3%)
2位 : 官公需要の停滞 (23.5%)

③小売業



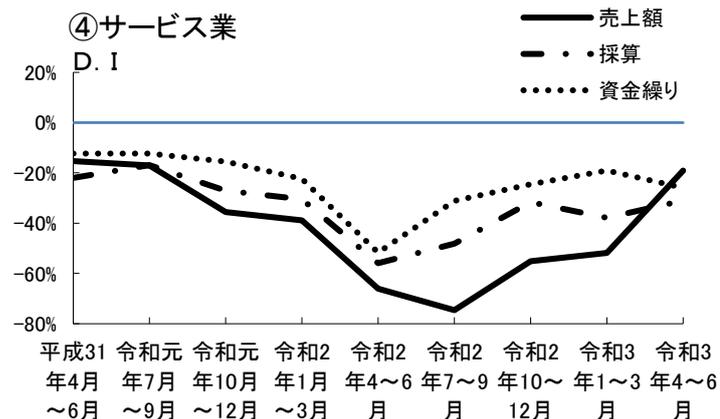
<前期比>

売上額 : 好転 (▲61.9→▲51.3 ポイント)
採算 : やや悪化 (▲52.3→▲53.7 ポイント)
資金繰り : やや悪化 (▲22.0→▲29.3 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 購買力の他地域への流出、需要の停滞 (23.1%)
2位 : 仕入単価の上昇 (10.3%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 大幅好転 (▲51.8→▲19.0 ポイント)
採算 : やや好転 (▲37.9→▲31.0 ポイント)
資金繰り : やや悪化 (▲19.0→▲25.9 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (31.3%)
2位 : 利用者ニーズの変化 (27.1%)